

【生徒アンケートから】※○は成果 ●は課題

- （設問10）「強く思う」「思う」と回答している生徒が全体の98%であり、ほとんどの生徒が登下校時に交通ルールを守っていると回答している。しかし、学期に数回は、地域の方々から交通マナーについての苦情を受けている。
- （設問12）「強く思う」「思う」と回答している生徒が全体の94%であり、服装や身だしなみが守れていると回答している。多くの生徒が、学校のルールを守り、正しい服装・身なりで学校生活を過ごしている。
- （設問14）「強く思う」「思う」と回答している生徒が全体の94%であり、無言清掃ができていると回答している。来年度からチャイム時に掃除場所で整列し、更に清掃に対する意識の向上を図る予定である。
- （設問17）「強く思う」「思う」と回答している生徒が全体の90%であり、先生が生徒の行動に対してきちんと指導してくれていると捉えている。教職員が生徒の意見をきちんと向き合い、安心して話ができているようである。
- （設問18）「強く思う」「思う」と回答している生徒が全体の94%であり、先生が生徒の取組を認めていると捉えている。今後さらに、積極的な声かけや賞賛活動を取り入れ、生徒が主体となった教育活動に取り組む必要がある。
- （設問4）「あまり思わない」「全く思わない」と回答している生徒が全体の46%で、学校の宿題以外の家庭学習の取り組み方等が分からない生徒への対応が必要である。「強く思う」と回答する生徒の割合を多くする工夫・改善が求められている。
- （設問5）「あまり思わない」「全く思わない」と回答している生徒が全体の36%で、定期テストへ向けてテスト計画や学習計画を立てる習慣が身についていないようである。テスト対策の計画の仕方・取り組み方を教えていく必要がある。
- （設問6）「あまり思わない」「全く思わない」と回答している生徒が全体の49%で、本校においても活字離れの割合が多くなっている。活字を「読む」「書く」活動が学習の基礎・基本であるので、対策を講じる必要がある。
- （設問7）「あまり思わない」「全く思わない」と回答している生徒が全体の38%で、キャリアデザイン教育の充実を図り、生徒一人一人が自己有用感や自己存在感の向上を図る教育活動の充実が必要である。
- （設問25）「あまり思わない」「全く思わない」と回答している生徒が全体の42%で、全体に発表する場面がないと判断している。自分の考えを全体に自信をもって発表することにより、自己有用感や自己存在感の育成が図られる。

【保護者アンケートから】※○は成果 ●は課題

- （設問8）「強く思う」「思う」と回答している保護者が全体の93%であり、日々の登下校時に交通ルールを守り、行動できていると回答している。
- （設問15）「強く思う」「思う」と回答している保護者が全体の100%であり、丁寧な電話対応ができていると回答している。事務職員を含め、職員の接遇マナーの向上が見られる。さらに研修を深め、接遇マナーアップを図っていく。
- （設問17）「強く思う」「思う」と回答している保護者が全体の98%であり、日頃の学校生活や学校行事への保護者・地域への開放ができていると回答している。「地域と共にある学校」を目指し、情報公開等を積極的に行っていきたい。
- （設問18）「強く思う」「思う」と回答している保護者が全体の94%であり、生徒の服装や身だしなみがきちんと整っていると回答している。ブレザーやスラックス等が延岡市で統一できているので、着こなしやマナー等が向上している。
- （設問22）「強く思う」「思う」と回答している保護者が全体の97%であり、適切な学校行事や式典が行われていると回答している。感染症対策による規制がなくなり、保護者・地域の方々に自由に観覧してもらえる環境が整ってきている。

【保護者アンケートから】※○は成果 ●は課題

- （設問4）「あまり思わない」「全く思わない」と回答している保護者が全体の57%で、学校の宿題以外に自分で学習する習慣が身につけていないと回答している。自分で学習する習慣作りが今後必要である。
- （設問5）「あまり思わない」「全く思わない」と回答している保護者が全体の40%で、定期テスト前に計画を立て学習に取り組んでいないと認識している。一度学校において、事前準備の取り組み方を実際に計画を立てる時間の確保が必要である。
- （設問6）「あまり思わない」「全く思わない」と回答している保護者が全体の58%で、読書の習慣が身につけていないと回答している。保護者と同じ考えをもっている生徒も多く、本を読む習慣の確立が今後必要である。
- （設問7）「あまり思わない」「全く思わない」と回答している保護者が全体の49%で、将来の職業や目標に希望が持てていないと回答している。生徒の回答においても同じ状況が見られる。今後はキャリア教育の充実が必要である。
- （設問23）「あまり思わない」「全く思わない」と回答している保護者が全体の68%で、生徒の活動の場の設定がさらに必要と回答している。活動の場を設定することで、賞賛活動の場面や自己決定の場面等教育効果の高い活動に取り組む必要がある。

【教職員アンケートから】※○は成果 ●は課題

- （設問4）「強く思う」「思う」と回答している教職員が全体の100%であり、日頃からいじめや問題行動の早期発見、早期対応に努めていると回答している。大きな問題やトラブルもなく、学校生活が充実したものになっている。
- （設問16）「強く思う」「思う」と回答している教職員が全体の91%であり、毎朝、健康観察簿を活用し、健康観察を行っている。今年度は感染症による学級閉鎖等がなく、毎日登校することができている。
- （設問28）「強く思う」「思う」と回答している教職員が全体の100%であり、積極的な情報公開ができていると回答している。今年度はPTA執行部によるInstagram開設もでき、積極的な情報発信ができ、充実したものとなっている。
- （設問34）「強く思う」「思う」と回答している教職員が全体の100%であり、不祥事根絶を意識した自覚や行動ができていると回答している。今年度も外部の有識者を招聘し、全職員で研修を行った。今後も研修を継続していく。
- （設問37）「強く思う」「思う」と回答している教職員が全体の100%であり、教育公務員としての服務や倫理観をもち、業務を遂行していると回答している。教職員による不祥事は今年度も0件であり、今後も研修等を行い、継続していく。
- （設問3）「あまり思わない」「全く思わない」と回答している教職員が全体の37%で、学年での協力体制できていないと回答している。月2回の学年部会（75分間）を実施している。部会の在り方や部会の内容について改善が必要である。
- （設問9）「あまり思わない」「全く思わない」と回答している教職員が全体の45%で、生徒が主体的な委員会活動の推進していく必要があると回答している。各学年において委員会活動の活性化に取り組んでいるが、まだまだ浸透していない。
- （設問19）「あまり思わない」「全く思わない」と回答している教職員が全体の55%で、ICTの積極的な活用できていないと回答している。本校教職員の研修の主題が「ICTの活用」となっており、効果のある研修を推進していく必要がある。
- （設問22）「あまり思わない」「全く思わない」と回答している教職員が全体の46%で、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業ができていると回答している。この視点による授業を構築するためにも学習規律の推進が必要である。
- （設問25）「あまり思わない」「全く思わない」と回答している教職員が全体の46%で、PTA活動や地域行事に積極的に参加していないと回答している。地域清掃活動を年1回実施しているが、さらに地域との連携を図っていかなければならない。